ること。

エ　論理の展開を予想しながら聞き，話の内容や構成，論理の展開，表現の仕方を評価するとともに，聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすること。

オ　論点を共有し，考えを広げたり深めたりしながら，話合いの目的，種類，状況に応じて，表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。

(2) (1)に示す事項については，例えば，次のような言語活動を通して指導するものとする。

ア　自分の考えについてスピーチをしたり，それを聞いて，同意したり，質問したり，論拠を示して反論したりする活動。

イ　報告や連絡，案内などのために，資料に基づいて必要な事柄を話したり，それらを聞いて，質問したり批評したりする活動。

ウ　話合いの目的に応じて結論を得たり，多様な考えを引き出したりするための議論や討論を，他の議論や討論の記録などを参考にしながら行う活動。

エ　集めた情報を資料にまとめ，聴衆に対して発表する活動。

B　書くこと

(1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　目的や意図に応じて，実社会の中から適切な題材を決め，集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して，伝えたいことを明確にすること。

イ　読み手の理解が得られるよう，論理の展開，情報の分量や重要度などを考えて，文章の構成や展開を工夫すること。

ウ　自分の考えや事柄が的確に伝わるよう，根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに，文章の種類や，文体，語句などの表現の仕方を工夫すること。

エ　目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。

(2) (1)に示す事項については，例えば，次のような言語活動を通して指導するものとする。

ア　論理的な文章や実用的な文章を読み，本文や資料を引用しながら，自分の意見や考えを論述する活動。

イ　読み手が必要とする情報に応じて手順書や紹介文などを書いたり，書式を踏まえて案内文や通知文などを書いたりする活動。

ウ　調べたことを整理して，報告書や説明資料などにまとめる活動。

C　読むこと

(1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握すること。

イ　目的に応じて，文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら，内容や書き手の意図を解釈したり，文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに，自分の考えを深めること。

(2) (1)に示す事項については，例えば，次のような言語活動を通して指導するものとする。

ア　論理的な文章や実用的な文章を読み，その内容や形式について，引用や要約などをしながら論述したり批評したりする活動。

イ　異なる形式で書かれた複数の文章や，図表等を伴う文章を読み，理解したことや解釈したことをまとめて発表したり，他の形式の文章に書き換えたりする活動。

3　内容の取扱い

(1) 内容の〔思考力，判断力，表現力等〕における授業時数については，次の事項に配慮するものとする。

ア　「A話すこと・聞くこと」に関する指導については，20～30単位時間程度を配当するものとし，計画的に指導すること。

イ　「B書くこと」に関する指導については，30～40単位時間程度を配当するものとし，計画的に指導すること。

ウ　「C読むこと」に関する指導については，10～20単位時間程度を配当するものとし，計画的に指導すること。

(2) 内容の〔知識及び技能〕に関する指導については，次の事項に配慮するものとする。

ア　(1)のウの指導については，「言語文化」の内容の〔知識及び技能〕の(1)のイの指導との関連を図り，計画的に指導すること。

(3) 内容の〔思考力，判断力，表現力等〕に関する指導については，次の事項に配慮するものとする。

ア　「A話すこと・聞くこと」に関する指導については，必要に応じて，口語のきまり，敬語の用法などを扱うこと。

イ　「B書くこと」に関する指導については，中学校国語科の書写との関連を図り，効果的に文字を書く機会を設けること。

(4) 教材については，次の事項に留意するものとする。